

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

竹原市立竹原西小学校 9教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支 学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	40	26	37	23	29	32	187	9	196
学級数	2	1	2	1	1	1	8	2	10

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年 1組 (担任：A)	A	推進	A	A	推進	F	推進	F	推進 1 A 1.6	A	A	A	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年 1組 (担任：B)	B	推進	B	B	推進	F	F	F	推進 1 B 1.6	B	B	B	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	6	1	2	5	2.6	1.7	1.7	3	1	2	1	1
3年 1組 (担任：C)	C	F	C	C	推進	F	C	D	C	C	C	C
3年 2組 (担任：D)	D	D	D	D	推進	F	D	D	D	D	D	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	6	1	2.6	5	3	1.7	1.7	3	1	2	1	1
4年 1組 (担任：E)	E	推進	E	E	推進	F	推進	E	E	E	E	C

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

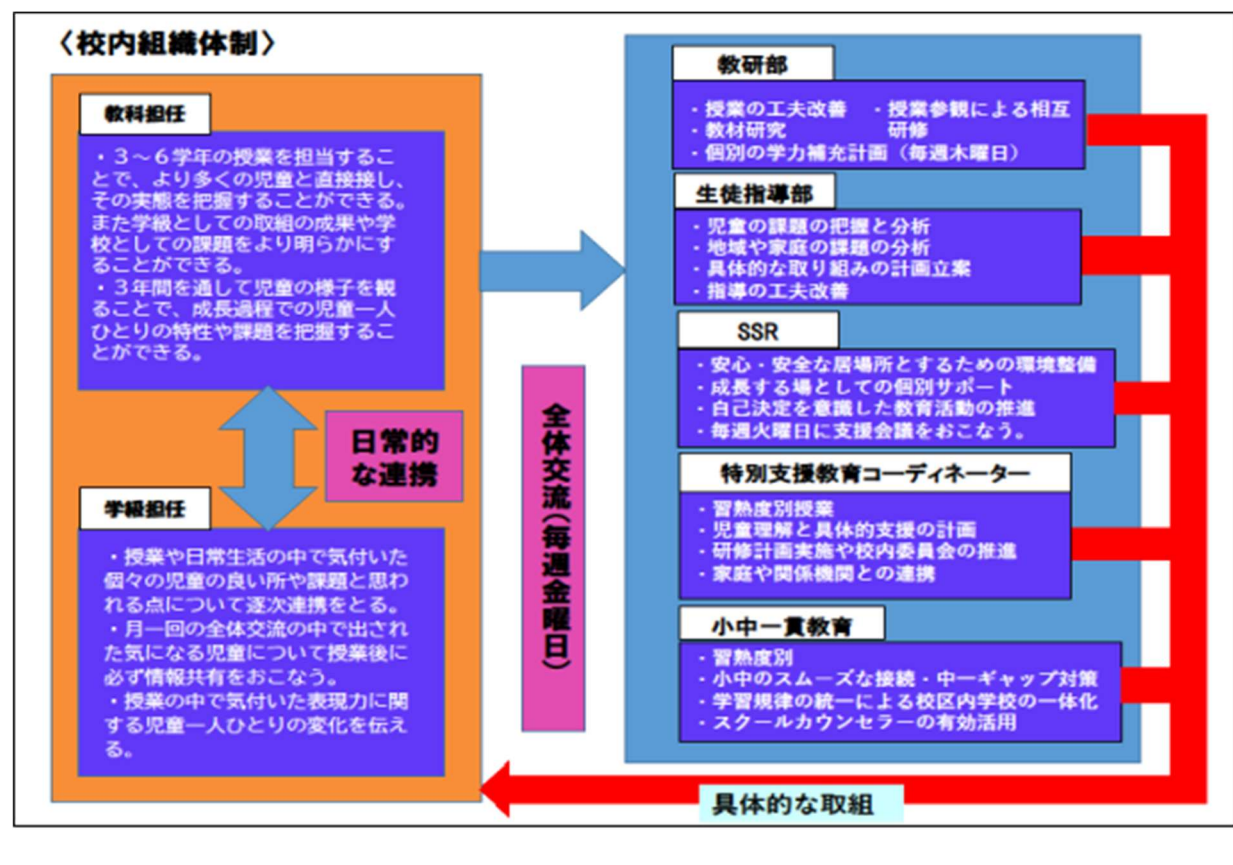
<効果のあった取組>

①授業の質の向上

- ・教科担任は、担当教科を複数学年にわたって指導することができるため、学習内容の系統性や児童がつまずきやすいポイントが明確になり、先手を打った支援を行うことができた。
- ・基礎学力の定着に課題のある児童について、木曜日の放課後に学力補充の時間を設けている。個への指導を充実させるため学級担任に加え教科担任も入り、「ことばのたつじん」「かず・かたち・かんがえるたつじん」の調査を活用してつまずきに応じた取組を行うことができた。
- ・全国学力・学習状況調査等の誤答分析から授業の課題を洗い出し、組織的に授業改善を行った。
- ・空き時間を利用して他学級の授業を参観することで、授業改善に生かすことができた。

②多面的な児童理解

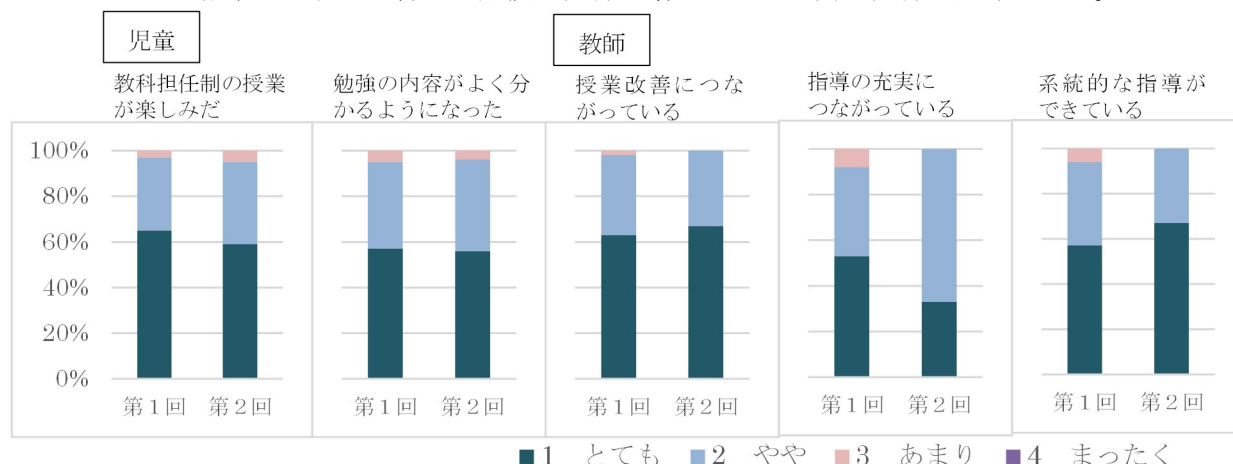
- ・授業の中で気が付いた児童の小さな変化について、日常的に情報共有を行った。
- ・毎週金曜日に教職員全員で、気になる児童や配慮が必要な児童について情報共有を行った。
- ・児童へのアセスメントを実施し、教科担任と学級担任が、個別のサポート計画に基づいて同じ方向性で指導した。
- ・学校生活におけるルールについて、校内で気が付いたことを伝え合い、どの教員も同じように指導し、徹底を図ることができた。



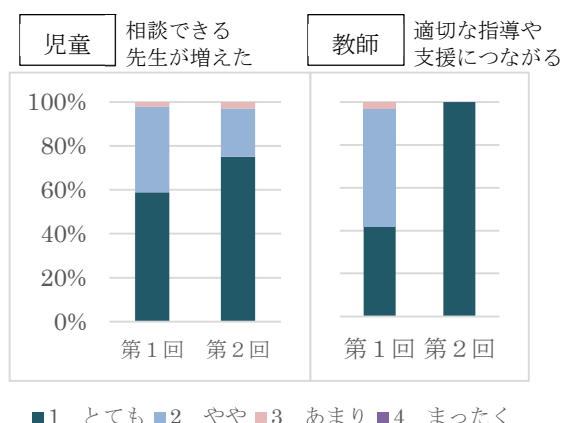
<成果>

①授業の質の向上

- アンケート結果はいずれも肯定的評価の割合が増加かまたは高い割合で同等である。



②多面的な児童理解



- アンケート結果はいずれも「とても当てはまる」と回答した割合が増加している。
- 学力面、生徒指導面、特別支援教育の視点等様々な面で気になる児童について、複数の教員で気付きを出し合い共有することによって、児童を多面的に理解することができている。
- 具体的な支援について、組織的に方向性を決めて行うことができている。

<課題>

①授業の質の向上

- 行事や出張などによる時間割変更を行う際、調整が難しい。
- 児童の学力差が大きく、個別支援が必要な児童が各学級に複数いる。継続的な学力補充の取組が必要である。
- 教師アンケートの指導の充実にに関する回答の「とても当てはまる」の割合が減少している。

②多面的な児童理解

- 日常的な連携や組織間の連携について記録に残りにくい。

<対策>

①授業の質の向上

- 金曜日の暮会後に一斉に時間割を確認する時間を設け、翌週の調整をしている。
- I C T機器の活用などにより、家庭学習や学力補充の内容や方法を個に応じた工夫をする。また、把握した児童のつまづきをより具体的に指導に生かすため、次年度以降、教科担任が中心となって個別最適な学びのためのプロジェクトを立ち上げるなど取組を行う予定である。
- 次年度は担任間の授業交換も含め、教科担任制のメリットをより生かせる体制を検討する。

②多面的な児童理解

- 来年度以降の指導に生かすために、積極的に記録を残すようにする。